



第 83号(平成 29 年8月 21 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は次の方々に長野県の山岳地域で発生した遭難事例を原則的に 1 週間ごとにお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。

- ◇お客様と接する登山用品店舗スタッフの方
- ◇インターネットの登山情報サイトを利用される登山者
- ◇長野県内の各地区山岳遭難防止対策協会

平成 29 年中の山岳遭難発生状況(平成 29 年1月1日～8月6日)


BC(バックカントリー)は、登山行為を伴う「スキー(スノーボード)登山」と登山行為を伴わない「ゲレンデ外滑走」の総称。

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)外国人
平成 29 年	171	33	3	91	69	196	20
平成 28 年	155	23	3	84	64	174	7
前年同期比	16	10	0	7	5	22	13
内)BC	22	1	1	9	16	27	10

山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	26	15.2%	7		15	5	27
	後立山	42	24.6%	6	1	26	13	46
	その他	23	13.5%	3	2	11	7	23
	計	91	53.2%	16	3	52	25	96
中央アルプス	14	8.2%	4		8	2	14	
南アルプス	9	5.3%	2		4	3	9	
八ヶ岳連峰	15	8.8%	4		11	7	22	
その他の山岳	42	24.6%	7		16	32	55	
計	171		33	3	91	69	196	

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
7月31日	北アルプス 白馬鑓ヶ岳	58	男	転倒	負傷	テント場付近で足を踏み外して転倒し、負傷。
30日、北アルプス白馬鑓温泉で、男性Aさん58歳が滑落して腰椎圧迫骨折の重傷を負う山岳遭難が発生し、県警へリで救助しました。						
8月1日	中央アルプス 木曾駒ヶ岳	68	女	道迷い	無事救出	下山中、登山道を外れ道に迷ったもの。
1日、中央アルプス木曾駒ヶ岳で、女性Aさん68歳が道に迷う山岳遭難が発生し、駒ヶ根署員等の捜索により発見救助しました。						
8月2日	北アルプス 間ノ岳	57	男	滑落	死亡	間ノ岳付近の稜線から何らかの原因により、滑落したものの
2日、北アルプス西穂高岳で、男性Aさん57歳が滑落する山岳遭難が発生し、県警へリで救助しましたが、その後、頭部外傷により死亡が確認されました。						
8月2日	北アルプス 横通岳	54	男	道迷い	無事救出	大天井岳から常念岳に向かう途中、道に迷い行動不能となったもの。
2日、北アルプス大天井岳で、男性Aさん54歳が道に迷う山岳遭難が発生し、県警救助隊員等が発見救助しました。						
8月3日	南アルプス 易老岳	67	男	発病	死亡	易老岳に向けて登山口を出発後まもなく、何らかの疾患を発症したものの。
3日、南アルプス易老岳で、男性Aさん67歳が体調を崩して意識消失となる山岳遭難が発生し、山梨県防災へリが救助しましたが、その後死亡が確認されました。						
8月3日	中央アルプス 南木曾岳	72	男	転倒	負傷	山麓避難小屋から山頂に向けて登山中、足を滑らせ転倒し負傷。
3日、中央アルプス南木曾岳で、男性Aさん72歳が登山中に足を滑らせて転倒し、左大腿骨骨折の重傷を負う山岳遭難が発生し、県警へリで救助しました。						
8月3日	北アルプス 蝶ヶ岳	79	男	疲労	無事救出	蝶ヶ岳に向けて登山中、疲労により行動不能となったもの。
3日、北アルプス蝶ヶ岳で、茨城県居住の男性Aさん79歳が疲労のため行動不能となる山岳遭難が発生し、遭対協により救助されました。						

8月4日	北アルプス 常念岳	61	女	滑落	負傷	常念岳から下山中、王滝ベンチ付近においてスリップ、滑落し負傷。
<p>4日、北アルプス常念岳で、女性Aさん61歳が下山中に滑落して右足首骨折等の重傷を負う山岳遭難が発生し、県警へリで救助しました。</p>						
<p>常念岳一ノ沢で発生した遭難現場の状況</p>						
8月4日	北アルプス 前穂高岳	57	女	滑落	負傷	重太郎新道を下山中、浮石に乗ってバランスを崩し滑落、負傷。
<p>4日、北アルプス前穂高岳の重太郎新道付近で、女性Aさん57歳が滑落して頭部裂創等の重傷を負う山岳遭難が発生し、県警へリで救助しました。</p>						
8月4日	北アルプス 針ノ木岳	70	女	転倒	負傷	針ノ木岳雪溪の下部付近で転倒し、負傷
<p>4日、北アルプス針ノ木岳の針ノ木雪溪下部で、女性Aさん70歳が転倒して頭部、顔面等を負傷する山岳遭難が発生し、付近の山小屋従業員により救助されました。</p>						
8月5日	北アルプス 七倉岳	76	男	滑落	死亡	船窪小屋から七倉登山口へ下山中、何らかの原因により滑落したもの。
<p>5日、北アルプス七倉岳七倉尾根付近で、男性Aさん76歳が滑落する山岳遭難が発生し、県警山岳救助隊が発見救助し、県警へリにより収容しましたが、多発外傷より死亡が確認されました。</p>						
8月6日	北アルプス 針ノ木岳	36	男	その他	負傷	テントで宿泊中に誤って熱湯を足にこぼし、火傷により行動不能となったもの。
<p>6日、北アルプス針ノ木岳で、男性Aさん36歳がテント場で熱湯をこぼして右足甲部熱傷を負い、県警へリで救助しました。</p>						

8月6日	八ヶ岳連峰 双子山	61	男 女 6 名	道迷い	無事救出	子どもを含む家族6名で日帰り予定で入山したが、下山中日没により道に迷い行動不能となったもの。
6日、八ヶ岳連峰双子山で、3歳から61歳の男女6人が道に迷い行動不能となる山岳遭難が発生し、茅野警察署員が救助しました。						
8月6日	北アルプス 北穂高岳	67	男	疲労	無事救出	大キレットを北穂高岳に向けて登山中、疲労のため歩行困難となったもの。
6日、北アルプス北穂高岳で、男性Aさん67歳が疲労により歩行困難となる山岳遭難が発生し、遭対協隊員が出動し、付近の山小屋へ収容しました。その後、同男性は、症状が回復し、7日、自力下山しています。						

山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

8月1週は、14件の遭難が発生しました。そのうち道迷いが3件、疲労が2件発生しましたが、それらの遭難の内容を見ると、ほとんどが日没近くもしくは日没後に救助要請をしており、長時間の行動により極度の疲労に陥ったり、夜間、視界不良の中、無理に行動を続け遭難しているケースが多く見受けられました。登山の常識の一つとして「早出早着」という言葉がありますが、これは早朝早いうちに行動をはじめ、午後3時頃までにはその日の行動を終えるというものです。「早出早着」は無計画な長時間行動を避け、時間及び体力に余裕を残すとともに、午後の落雷被害のリスクを避けるといった、古くから登山者が経験を積み重ね、身に着けた安全登山のための行動パターンです。皆さんも「早出早着」を実践して余裕のある行動を心がけてください。

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝